

【安八町／大垣市・安八郡安八町東安中学校組合】

1人1台端末の利活用に係る計画

1. 1人1台端末を始めとするICT環境によって実現を目指す学びの姿

学習指導要領にもあるとおり、今後、全児童生徒が、自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り拓き、持続可能な社会の創り手となることができるようにすることが求められています。

社会全体におけるデジタル化・オンライン化等を踏まえ、学校教育にはICT環境の利活用は必要不可欠です。

高速大容量のネットワーク整備においては、配備時において理論上はクリアしていても、実際に端末を使用するにあたり、繋がりにくい場面が見受けられるのも事実です。今後のアセスメント業務を踏まえ、学びを止めないために、さらなるICT環境の構築により、児童生徒及び教職員がストレス無く端末及び電子機器を活用した充実した授業を行えるようサポートしていきたいと考えます。

2. GIGA第1期の総括

安八町及び大垣市・安八郡安八町東安中学校組合においては、令和2年度に管内小中学校5校において、1人1台端末の導入及び端末を活用した学習に向けたネットワーク回線の整備を行い、運用を開始しています。各学校においては、児童生徒が自分の考えをまとめ、教職員や児童生徒と共有できる授業やオンライン学習等を展開しています。学級閉鎖や休校時、また、不登校児童の学習支援の媒体としても大きな力を発揮しています。しかし、端末の破損が後を絶たず、令和5年度においては、導入端末の2割超の破損届が提出されています。ソフト面における破損より、圧倒的にハード面の故障・破損が多いです。改めて、児童生徒及び教職員に対し、端末は個人の物ではなく貸与されている物であること、使い方・持ち運び方等の指導を徹底していく必要があると考え、教育委員会では、情報教育部会の主任教員等に指導の徹底を依頼しています。

また、端末を用いた授業に慣れている教職員と不得手な教職員により、学校間でも端末を用いた授業の頻度に大きな差が発生しています。児童・生徒に学びの差異が生じないように、教育委員会では、端末のさらなる利用を働きかけています。

3. 1人1台端末の利活用方策

学校現場において、教職員のICT活用指導力を向上させるため、1ST GIGA導入時から、全5校に対し、継続的にICT支援員等を派遣しています。授業での困りごとや学校運営に対する活用方法等を学び、他校での活用事例を共有することにより、積極的に取り入れることができないか検討しています。

個別最適・協働的な学びの充実として、各児童生徒の学習の理解度や進度に合わせ多様な学習展開を進める場面においては、デジタル教科書や各種動画教材等を活用しながら

ら、積極的な端末活用を進められるよう支援しています。また、機械操作が不得手な教職員に対し、各校の情報教育主任や得意な教職員が指導することにより、児童生徒に端末活用の差が生じないように、研修や指導の場を設けています。

学級閉鎖等により、学校での授業が受けられない場合のオンライン配信や不登校児童生徒への端末による学習支援、日本語学習が難しい外国人児童生徒に対しては画面を映し出すことによる翻訳機能など、さまざまな場面・状況において学びを確保し、個別最適化が図られるように、端末の活用を進めています。

今後も様々な場面・状況において、端末を活用しながら学びの保障に努め、今後、端末の整備や更新を行い、児童生徒全員の学習環境を維持し向上させるため、引き続き、教育委員会・学校現場が一丸となり様々な問題をクリアし、進めていきたいと考えています。